

クラブ国際奉仕・WCS委員会 第一回委員長会議 報告

国際奉仕・WCS委員会

委員長 小林 澄子
(守ロイブニングRC)

2010年7月24日(土) 9:30～11:30 大阪薬業年金会館 601号室

出席者：104名 地区役員 3名、G補佐 7名、地区委員 10名
IM1組 8クラブ 7名、IM2組 12クラブ 13名、IM3組 11クラブ 11名、
IM4組 10クラブ 12名、IM5組 12クラブ 12名、IM6組 11クラブ 12名、
IM7組 11クラブ 10名、IM8組 10クラブ 8名

司会進行：地区国際奉仕・WCS委員会副委員長 古澤照明

ガバナー挨拶：松本新太郎

開会挨拶：地区国際奉仕・WCS委員会委員長 小林澄子

プレゼンテーション

国際奉仕と世界社会奉仕について：地区研修委員会委員 宮里唯子

人道的補助金プログラムの有効な活用：地区財団法人道的補助金委員会委員長 五味千秋

MG申請書の作成方法と実務：地区国際奉仕・WCS委員会委員長 小林澄子

活動発表

姉妹クラブについて：大阪北RC 1979-1980年度会長 諮問委員 古市 實、大阪西北RC 三村恵造

2009～2010年度第一期カンボジアプロジェクト視察報告：地区国際奉仕・WCS委員会直前委員長 戸田和孝

WCS基金会計報告：地区国際奉仕・WCS委員会委員 吉田政雄

ガバナー・エレクト閉会挨拶：岡部泰鑑

今年度のクラブ委員長会議は、少しずつの時間配分となりましたが、内容的には総合的に国際奉仕活動が理解できるように歴史的背景を、TRFから地区に配分される資金面についての理解を、クラブ委員長が実際にWCS事業をMGを使って実行しようと考えた時に作成しなければならない申請書の実務について時間の限り説明をしました。

活動発表は、長期にわたって姉妹クラブ活動を続けている、2クラブが姉妹クラブ活動の楽しさや注意点をお話し下さいました。

続いて、委員会前日カンボジア視察から帰国した直前

委員長の戸田氏からカンボジアプロジェクト報告がされ、昨年の視察の様子と今年度の贈呈式・診療所開所式の模様が発表され、カンボジアという国の20年にわたる内戦と現在の様子も合わせてお話され、奉仕活動への費用対効果を検証できる発表となりました。

松本Gは「お忙しいところを出席された委員長の皆様には、本日の会議で必要とする情報を何卒お持ち帰りください」と御挨拶くださいましたが、もしそうなっていれば本当に幸いです。ご参加、御協力下さいました皆様方に、心よりお礼申し上げます。有難うございました。

